



2015.08

No.548

一般社団法人
群馬県労働者福祉協議会
〒379-2166 前橋市野中町361の2
TEL027(263)3443
URL <http://www.gunma-rofukukyo.or.jp>
e-mail:post@gunma-rofukukyo.or.jp
発行責任者 金子裕昭

ぐんま労福協交流研修会

事業内容や活動内容を知り合い、交流を深めました!!

7月31日ホテルラシーネ新前橋において、「ぐんま労福協交流研修会」を開催しました。この研修会は、労福協会員である福祉事業団体や生活協同組合の事業活動（含む社会貢献活動）や連合群馬青年委員会、女性委員会の活動内容を共有し、労福協が進めている自主福祉運動を拡大していくきっかけづくりを目的とし、各団体から40名が参加しました。

北川理事長の開会挨拶を受け第1部の開始です。冒頭、連合群馬田中青年委員会事務局長、女性委員会齊藤委員長より、連合の生い立ちから組織体制、連合が目指すものの概要説明を行い、男女が共に担う仕事と生活の調和に向けた取り組みを軸とした様々な活動が紹介されました。事業団体から参加した皆さんにとっては「目からうろこ」状態の方もいたようです。



連合の皆さん



コープぐんま小保方常務

続いて、コープぐんまの小保方常務から、コープぐんまの事業概況の報告と、東日本大震災復興支援の取り組みや各地方自治体と締結した独居生活者や高齢者への「見守り協定」など、生協のネットワークを生かした社会貢献活動が報告されました。



全労済の皆さん



ろうきんの皆さん

全労済群馬本部品田係長からは、全労済の成り立ちから新潟の大震災を経験して労働者による身近な「たすけあい」から生まれた共済事業を営んでいることが報告されました。また、全労済は民間保険会社と違いトータルな保障で勤労者の生活全般をカバーしていることや、さらには昨年2月の群馬での豪雪対策の取組等が紹介されました。

中央労金前橋支店川津さんからは、群馬地区で展開している「ろうきん」「な・ら・で・は」の取り組みについて、少子高齢化が進行する中、若手職員の活躍こそが大切と位置づけた「若手職員インフォーマル会議」の取り組みが紹介されました。これは、入庫1~5年目の職員を軸に「課題の認識、解決のできる若手職員の醸成」と「意見交換の場」とすることを目指しています。若手が中心となる取組は他の参加者の皆さんも注目していました。



トラベル星野・茂木さん

群馬トラベルセンター太田営業所の茂木さんからは、1963年10月に設立されたトラベルセンターが、「勤労者とその家族の余暇利用を通じた福祉へ貢献してきた」50年余りを振り返り、今後も勤労者のために基本とする事業として歩んでいくことが表明されました。そして福祉対策協会の江積さんからは株式会社として設立された福対協だが、福祉事業団体として行っている事業（建設・不動産業、冠婚葬祭業保険業、物品販売業等）の紹介があり、生活全般にわたる福対協の利用が訴えられました。



福対協 梅澤・江積さん

第1部研修会、第2部懇親会での交流を踏まえ、金子専務より「今日の皆さんの話を聞き、労福協事業が私たちの生活全般を網羅していることを実感しました。さらに自主福祉運動の輪を広げていきましょう」との挨拶を受け閉会としました。

群馬県労働者生活協同組合第60回通常総代会

および全労済群馬県本部第6回代表者会議を開催しました!

2015年7月30日(木) 前橋市「前橋テルサ」にて、群馬県労働者生活協同組合第60回通常総代会および全労済群馬県本部第6回代表者会議が開催されました。

当日は、多くのご来賓にご臨席をいただく中で、杉山尚広経営委員による開会宣言・資格審査報告の後、議長団に選出された小宮勝義総代(全県区総代:運輸労連)と小内健四朗総代(高崎地区総代:JAM NSKニードルベアリング労働組合)により議事進行が行われました。

書記任命・議事録署名人の選出の後、加藤雅二本部長の挨拶に続き、来賓の方々を代表して、群馬県生活文化スポーツ部消費生活課次長の坂口徹様および連合群馬会長であり、群馬県労働者福祉協議会理事長の北川秀一様よりご祝辞を頂きました。

総代会および県本部代表者会議の全議案については、参加者142名(本人出席113名・書面議決書29名)によって、提案どおり承認を得て、盛会のうちに終了いたしました。

また、今代表者会議で経営委員・業務検査委員24名を選出し、吉田登新本部長が選任されました。

今後も、組合員の皆さまの期待に応えられるよう、本総代会および代表者会議で確認された活動方針および事業計画の完遂を目指し、全役職員一丸で取り組みを行ってまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。



吉田登新本部長



加藤雅二本部長

2015労済運動体験学習に参加して

企画委員 江積洋一(福祉対策協会)

7月14日~15日の二日間、神戸で開催された全労済2015年度「労済運動体験学習」に参加してきました。

1995年1月17日午前5時46分に発生した阪神淡路大震災はM7.3最大震度7を記録し死者6,434名の命が失われました。1日目はこの大地震の経験と教訓を未来に伝えるために設立された「人と防災未来センター」を訪問し、展示されている当時の様子や映像を通して防災・減災のための必要な知識を学ぶことができました。

その後、賀川豊彦記念館にて共済の創始者である賀川豊彦氏の基本思想について講演を受けました。困難な時代背景の下での賀川氏の嘗みは共済運動をはじめとして今日の協同組合運動に連綿と引き継がれていることを改めて認識することができました。

2日目は阪神淡路大震災の原因となった野島断層が保存されている北淡震災記念公園の野島断層保存館を訪問しました。保存館の米山副館長のおはなしは、とても迫力がありスライドの写真を見ながら聞いていると、当時の悲惨な状況がまるで映画のように映し出されているような錯覚に陥りました。20年たった今でもその時のこととはっきりと覚えておられ、本人にしか分からない受けた心の傷の大きさを物語っていました。お話しの結びに米山副館長は震災後、笛を肌身離さず持ち歩いていると述べられていました。生き埋めになると声は出してもかき消され、知らせることさえできれば助かる命も増えていたと悔やんでおられました。

防災、減災は人としての義務だということは言葉では理解していましたが、肌で感じることができた貴重な体験でした。



福祉リーダー塾(前半)を受講して

連合群馬 坂上 恵理子

6月26日～27日の日程で開催された労福協東部ブロックが主催する福祉リーダー塾を受講しました。2日間で4つの講義を受け、最後にテーマ別のグループに分かれグループミーティングを行いました。

今回受講の声をかけていただき、協同組合や労働組合の歴史からその役割、労働組合・協同組合に求められること、持続可能な地域社会のために何を目指すべきなのかなど、あらためて知る機会を与えていただきました。



群馬でも講演いただいた高橋講師

これまで連合群馬の職員として長年業務に携わってきましたが、労福協とのかかわりについても連携している団体、加盟している団体として認識しているくらいでした。しかし、「労働運動と労働者福祉運動の理念と歴史」の講義の中で、労金・全労済は支え合い・助け合いの精神から労働者の手で誕生させた協同組合であり、単なる「業者」ではない、ともに運動する主体であると言っていたことが印象に残っています。また、連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」の実現についても、組織率の低下などにみられる現状を考えると労働運動そのものが正念場にあると感じます。そのような意味では、労働運動を支えてきた先輩たちの歴史や教訓を学ぶことで労働組合の存在意義を改めて実感することができたと思います。

まだ後半も残っており、最終的には小論文としてまとめることとなっています。私にとってかなりのプレッシャーではありますが、最後まで頑張りたいと思います。



東部ブロック黒河会長あいさつ

東部ブロック黒河会長あいさつ

前橋地区労福協

『年金積立金は誰のもの』を学びました。

年金学習会開催!

6月27日(土)勤労福祉センター第1会議室において、連合前橋地協と共に年金学習会を開催し34名が参加しました。

連合本部総合政策局・生活福祉局より平川則夫局長を講師に迎え、「年金積立金は誰のもの?」と題してお話しいただきました。年金積立金の運用の見直しにより、大事な積立金がリスクの高い投資に使われてしまうことの問題点を説明いただきました。



参加者からは、「運用に失敗すれば、自分たちの受け取る年金額が減ってしまう」「安定的な運用をしてほしい」などの感想が出されました。私たちの大変な老後の資金が、自分たちの知らないうちに泡と消えてしまうことの無いように、一人ひとりの声を大きく、訴えていかなければならない問題だとの思いを強くしました。

伊勢崎佐波地区労福協

社会見学バスツアーを実施しました!!



2015年6月20日(土)、ヤクルト茨城工場の見学ツアーを開催しました。

ヤクルト商品の説明や「BF-1」が、どのように造られているかを専門の係員の方から分かりやすく、そして笑いを盛り込んだ楽しい説明で工場を見学させていただきました。

こちらは世界各国で放映されているヤクルトのCM紹介。ボタンを押すとモニターからCMが流れます。

まずは2FのPR室でビデオ上映、工場や製品の説明がありました。(2Fは撮影禁止なので、残念ながら写真掲載できません。)

ヤクルトをいただきながら、子ども達は“ヤックン”と“ビッフィー”的登場するビデオに見入っていました。



大きなヤクルトの中を
真剣に覗き込んで…

ぐんま労福協会員からのお知らせです

報告:群馬トラベルセンター

フレミアム宿泊券販売闘記

「群馬フレミアム宿泊券」とは?

群馬県内の宿泊施設で利用できる宿泊補助券(ふるさと旅行券)で、5,000円分の宿泊券を半額の2,500円で購入できます。



7月10日(金)10:00より第1期分約24万5,000枚がコンビニやインターネット販売のほか、県内の旅行会社窓口などでの対面で販売されました。即日完売となりました。

群馬トラベルセンターでも前橋の本店と太田営業所で販売しました。販売当日は早朝より行列ができ、販売開始前の午前9時すぎに販売枚数を超える希望者が殺到し、売り切れのご案内と電話応対に追われる大わらわの一日となりました。

第2期分は9月25日(金)10:00より発売予定ですが、販売方法は未定です。

お問い合わせ先:「群馬フレミアム宿泊券コールセンター」TEL:0120-085-203

旅行計画はトラベルセンターへ お気軽にご相談を!!

国内旅行

エースJTBパッケージツアーを提供しています。JRや航空機、各種交通機関の予約・発券はもとより、長年の実績と経験で選んだ全国の旅館・ホテルの情報提供や予約などJTBオンライン端末にて対応しています。

オリジナル宿泊企画「湯ったりらくらく宿泊プラン」、オリジナル宴会企画「忘年会・新年会プラン」、群馬フレミアム宿泊券のご利用もご相談ください。



海外旅行

身近で気軽になった海外旅行。目的や計画に合わせて経験豊富なスタッフがツアーの全てをコーディネイト。

LOOK JTBパッケージツアーの予約業務を取り扱っております。

群馬トラベルセンター

受付時間/平日9:00~17:30 土曜日 9:00~12:00 日・祝祭日休業

本店 営業所

TEL:027 (252) 7111

太田 営業所

TEL:0276 (31) 7111